

～もしもの救急に備えて～

## 救急医療情報キットを配布しています！

### 救急医療情報キットとは？

救急医療情報キットとは、かかりつけ医療機関や緊急時の連絡先などを記入した情報シートと、健康保険証(写)などを専用の容器に入れ、ご自宅の冷蔵庫に保管しておくものです。緊急時、救急隊に必要な情報を伝える助けとなります。区ではキット一式を無料で配布しています。



### 申込みができる方

1. 65歳以上のひとり暮らし高齢者
2. 65歳以上の高齢者のみ世帯に属する者
3. 日中又は夜間に、居所において一人になる65歳以上の高齢者
4. 上記1～3に準ずる状況にある者

### 情報シートを随時確認してください

すでにキットをお持ちの方は、情報(病気、服薬、緊急連絡先など)が変わっていないか確認しましょう。いざというとき、情報が古いと役立ちません。最新の情報に変更し、空欄がないかチェックしましょう。新しいシートは下記申込場所で配布しています。

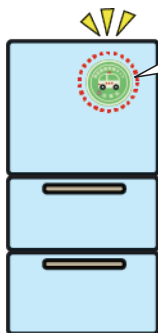
### 救急医療情報キットの保管方法

キットの本体ボトルは、  
常時**冷蔵庫**で保管してください。



冷蔵庫内の  
取り出し  
やすい場所

マグネットは**冷蔵庫のドア**に  
貼ってください。



キットを保管  
する冷蔵庫の  
扉の表

シールは**玄関ドアの内側**に  
貼ってください。



玄関ドア内の  
上部中央

## 申込方法

- 必要な物** 本人確認書類(保険証、運転免許証等)、キットを持ち帰るための袋
- 場 所** 高齢福祉課(区役所2階⑤番窓口 ☎5246-1225)  
各地域包括支援センター  
(センターの所在地が分からない場合は、高齢福祉課にお問い合わせください)。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 見守りサポーター養成研修を開催します

高齢者が安心して生活できるまちづくりを目指して

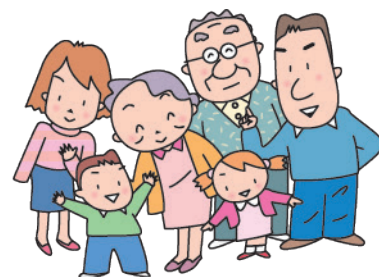
**日時** 12月1日(火) 午前9時半から11時半

**会場** 台東区役所10階 1003会議室(定員50名)

**講師** 日本社会事業大学 社会福祉学部

教授 下垣 光氏

**対象者** 台東区に在住・在勤・在学の方



「最近、あの人地域の集まりに来ないな」「何度も同じ話をするようになったな」などと身の回りに気になる・心配な人はいませんか。

台東区では現在ほぼ4人に1人が高齢者です。また、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯の増加が、今後とも予測されています。見守りが必要な状態や認知症は、自分や家族、友人、近所の人など、誰でもなる可能性があります。見守りが必要な方は自分からSOSを出せないことが多いため、周囲の気付きと手助けが必要です。

見守りの方法やポイント、認知症の症状等について学び、いくつになっても、住み慣れた地域や住まいで安心して暮らせるまちづくりの実現に向け、自分ができることはないか一緒に考えてみませんか？

研修を受講された方には、見守りサポーターの目印として、  
台東くんの見守りサポーター缶バッジをさしあげます。



**申込み** 高齢福祉課2階⑤番窓口 ☎03-5246-1225(予約制・無料)

## 見守り全体連絡会及び研修会を開催しました！

8月4日に見守りネットワーク全体連絡会及び研修会を開催しました。全体連絡会では関係協力機関の代表者の皆様に参加していただき、どのような見守りを行っているのか、今後の課題等について話し合いました。

研修会では民生委員、友愛訪問員等関係協力機関の方々161名にご参加いただきました。振り込め詐欺、熱中症予防の注意喚起、東邦大学看護学部教授岸恵美子先生による講演、みのわ地域包括支援センターによる見守り事例報告を行いました。

